



Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー第2660地区

吹田西ロータリークラブ ウィークリー 2011-2012

■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F

☎(06) 6338-0832 FAX (06) 6338-0020

URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急イン

☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06) 6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00

役員 会長：阪本勝彦 幹事：紙谷幸弘 会報委員長：榎原一滋

4

つのテスト

●真実かどうか

●みんなに公平か

●好意と友情を深めるか

●みんなのためになるかどうか

第1437回例会 平成23年11月28日

卓話「職業奉仕 炉辺談話」 大藤委員長
「私の職業」 右松会員

今週の歌「限りなき道ロータリー」

「ロータリーの理念と精神の追求」

先週内容

会長挨拶

阪本会長

- 11月12日「心の中を見つめよう博愛を広げるために」のもと、RI会長代理 中村 清治 様の臨席のもと、地区大会が開催されました。人に何かを与えようとするならば、まず自分自身に与えよ。自らが持つ望みを理解せず、人々の望みを理解出来ないと話がされていました。今回は都ホテル、NHKホールで実施されました。参加された方ご苦労様でした。
- GSEで来日中のスリランカのシャマリさんが瀧川会員宅でホームステイをされています。お世話をかけますがお願いします。
- 海外友好クラブ、タイ・ナコンパノムRCから11月19日、20周年式典の招待状が参っております。募集を呼びかけてみました結果、小林、木田、榎原会員が代表して出席下さいます。今年3月の東日本大震災時に、すぐ義援金を頂きました。子供達からは自分達の少ない小遣いの中から紙箱一杯の小銭を届けてくれ、私達に感動を与えてくれました。

ロータリー財団月間

次週 第1438回 例会予告 平成23年12月5日

卓話「歳末防犯について」 吹田警察署 署長
永田会員ゲスト

Weekly No. 1437は榎原委員長が担当しました。

Weekly No. 1438は水間副委員長が担当の予定です。

(本日の原稿をお渡し下さい)

現地の洪水がおさまりません。私達は好意に報いる為に全会員に5,000円の協力をして頂きたいと思っております。理事会では決定しています。尚、現地では危険を伴う場所へは行かないとの事です。

- 前後しますが岡部ガバナーが被災地を訪れ塔婆を立て読経している姿がビデオに流れ印象的でした。

ナコンパノムRC 20周年記念式典への 代表団結団式

小林会員



東日本大震災の影響で、ナコンパノムRCは20周年記念式典の通知を見送っていましたが、9月になって日本の状況も落ち着いてきたとの判断で、正式招待状を送付してきました。過去の両クラブの共同事業の実績や、特に当方の30周年には大代表団を派遣してくれたことを鑑み、木田社会奉仕担当理事、榎原広報委員長と私の3名が出席することになり、阪本会長からの祝辞を携えて、11月19日に行われる式典に臨みます。

10月から顕著になってきた洪水のため、国内線の空港は閉鎖されており、バンコクからナコンパノムへの直行便は運行されておらず、国際線の空港から一旦他都市へ飛んだ後、車で2時間半～3時間半程の行程となります。

現在のところ、バンコク市内と国際空港周辺に洪水の被害はありませんが、日々変化していますので、十分に注意して役目を果たしてきます。また、洪水の被害者に対する我がクラブよりの義援金は、ナコンパノムRCが行う事業に共同で参画する形で寄付される旨を通知して参ります。



GSEスリランカチーム団員のシャマリ様 花束贈呈



ホストファミリーの瀧川健一郎様(右)と一緒に

幹事報告 紙谷幹事

- ガバナー訪問時集合写真が出来上がりましたのでお配りしました。1枚1,500円です。
- 11月21日(月)は例会休会日となります。
- 地区大会の出席証明を、本日受付カウンターに箱を設置していますので提出お願いします。

ゲスト 西村委員

GSEスリランカチーム団員 Shamali L Perara 様
 ホストファミリー 瀧川 健一郎 様
 吹田 R C 上本 博 様

出席報告 中堀副委員長

- 会員数 48名 ●来客 3名
- 出席会員数 38名 ●本日の出席率 88.37%
- 10月24日の出席率(メーキャップを含む) 100%

職業奉仕委員会 大藤委員長

11月18日(金)の職業奉仕の炉辺談話につき、11月16日(水)に変更になりました。皆様にはご連絡済みですが、シャマリ様の歓迎会を兼ねておりますので、16日に振り替える方は宜しく願い致します。

ロータリー財団委員会 長屋副委員長

本日、阪本会長、島田会員、西村会員より特別寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。

米山記念奨学会委員会 澁谷委員長

本日、西村会員、清水会員より特別寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。

野球同好会 清水会員

ガバナー杯野球大会

ガバナー杯争奪野球大会第3戦が下記にて行われます。親子対決ですので是非応援にお越し下さい。

日時：11月20日(日) AM10:50試合開始
 相手：吹田RC
 場所：箕面サントリー球場



11月3日(祝)に行われた対八尾RC戦の様相

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	R
八尾	0	0	1	0	0						1
吹田西	3	4	0	8							15

※先週の会報で次回対戦相手を江坂RCと表記しておりましたが、正しくは吹田RCです。お詫びして訂正します。

ニコニコ箱 元田副SAA

- ◆井伊会員
結婚記念日のお花ありがとうございました。本日の卓話よろしくお願ひします。
- ◆紙谷会員
ケンちゃん(瀧川健一郎君) 1週間宜しくネ。

本日のニコニコ箱 8,000円
 累計のニコニコ箱 530,000円

「私の職業」 井伊会員

業務内容の大別

- 1. 測量
- 2. 設計
- 3. 調査

受注先

- 1 次官庁 国・独立行政法人…………… 3割
- 2 次官庁 大阪府…………… 3割
- 3 次官庁 吹田市を含めた市町村… 3割
- 民間 …………… 1割

1.測量部門

測量部門の中に、都市土木関連の測量とまちづくり関係の測量に分けられる。都市土木関連は、基準点測量、応用測量、地形測量に分かれ、まちづくり関係は、都市土木関連の測量に地区界測量、確定測量が入ってくる。当社としては、測量部門としては航空測量以外は全て受注している。

2.設計部門

平成15年位までは、測量・設計業務として発注されていたが、現在は分離発注が基本となってきたので、大阪府では当社としては測量を選んでいるので、設計部門については市町村の道路設計、下水道設計等を中心に受注しています。

3.調査部門

環境調査、地質調査、地すべり調査、文化財調査、土地調査、都市調査等であるが、当社で委託されている調査は、土地調査の中の台帳作成（下水道・道路・公園・水道）業務、地質情報の調査、交通量調査等である。

「私の職業」 伊藤会員

コンピュータソフトウェアの開発を行っています。ターゲットは病院、調剤薬局、一般企業です。

会員の皆さん、コンピュータシステム導入を成功させる方法は個人的にお教えします。いつでも気軽に声かけて下さい。

本日は、私の職業より「大阪マラソン」について話せと言われていましたのでそうします。

●参加までの道のり

- 一般公募（抽選）
- 定員3万人 → 17万人 約5.6倍

<内訳>

- フルマラソン
- 定員28,000人 → 15万5千人 約5.5倍
- 8.8Kmチャレンジラン
- 定員 2,000人 → 1万7千人 約8.5倍

一般公募で見事外れ、瀧川会員よりダスキ田中会員へお願いし企業枠で参加させて頂きました。有り難い限りです。

第1回大阪マラソンと49歳ということもありいい思い出となりました。目標5時間以内は達成できず、5時間44分で完走できました。順位は21559位/27161人でした。

来年はRC野球部で挑戦してはどうかと思います。ダスキ田中会員、来年も宜しくお願いします。

2011年度
ロータリー青少年指導者養成プログラム
「秋のライラ」報告書

- 日時 2011年10月8日(土)～10日(月・祝)
- 場所 財団法人大阪科学技術センター
および 大阪府立少年自然の家
- テーマ 「日本人の誇りを取り戻そう
ー21世紀の君たちへー」
- 主催 国際ロータリー 第2660地区
- ホスト 東大阪みどりロータリークラブ



株式会社ビケンテクノ
白石 武史様

今回私が参加させて頂きました「2011年度秋のライラ研修」は、「日本人の誇りを取り戻そう」というテーマのもと、行われました。

この研修は、厳しい社会情勢のなかでいかにして日本人が国際社会で力を発揮していくかという命題を掲げ、ロータリークラブに所属する学生や社会人の方々と2泊3日の共同生活をおくり、共通の課題に取り組みさせることによって、若い世代である個々の研修受講者にリーダーシップをつけさせることを目的とする研修会でした。

その研修のなかで私が最も強く感じたことは、「多くの国や人間性があるように、多くのリーダーシップがある」ということでした。

今回のようなライラ研修会は、毎年の春と秋、各ロータリークラブがホストとなり開催されておりますが、どのような研修を行うかは毎回異なるため、参加した時期によって経験す



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 Weekly Bulletin ROTARY CLUB of SUITA-WEST

内容は違います。裏を返せば、「リーダーシップとはこのような研修を行えば身に付く」というような単純なものではないということだと思います。

私と同じ班で研修に参加されていた受講生の方々は、大学生をはじめ、震災のあった福島で社会人をされている方、中学校の教職員をされている方など、異なる環境で生活をしているメンバーばかりでした。そういう経緯もあり、共通の課題に取り組む際も最初は考え方がかなりバラバラで、最終日にはこのライラで学んだことを全受講生と来賓の方々の前で披露するグループ発表があったのですが、それまでに班として一つの結論が出せるか、正直不安に感じることもありました。

しかし、全員に共通していることは、社会貢献と自己の成長のため自主的にこの研修に参加しようとする方々なだけあり、全員真剣で、はっきりとした自分自身の考えを持っているということでした。

そのためお互いの考えや得意分野をすぐに理解し合う事ができ、それぞれが自分の強みを発揮し、またお互いの弱みをうまくカバーし合うことが大切だと、感じ取ることができました。最終発表時には、リーダーに求められるものは全体を見渡せる視野の広さと、公平な判断力だという私たちなりの結論を示すことができました。

この研修に参加している人物は、全員リーダーとして活躍することができる人間になることを目的としています。ですが、全員がリーダーとして活躍しようと躍起になるあまり、協力し合う精神を置き去りにしてしまっは、元も子もありません。集団で一つの物事に取り組む場合、積極的に参加することは大切です。ですが、自己の力量や役割を十分に理解し、責任感を持って取り組むことこそが、最も大事なことになるのではないかと研修を通して学ぶことができました。

また、このような体験は積み重ねることによって、経験として私たちを成長させてくれるものだと思います。どうしようもない課題や、立ちふさがる問題を前にしたとき、「この問題は私より彼を中心に取り組めばうまくいくのではないか」というような判断を冷静にできるようになってこそ、真にリーダーシップがとれている状態だといえるのではないかと考えます。今回のライラは、あらためてそう思えるような研修会でした。

一番初めに行われた、青山繁春さんの基調講演では、日本という国に対し、おかしいと思う点について時間をオーバーするほど熱く指摘して頂き、また、ご自身の体験に基づいたお話も聞かせて頂きました。社会の真実や、歴史の素晴らしさ、そして日本人とは素晴らしい国民性を持った人たちだということを勉強させて頂きました。

団体行動では、私自身人見知りをするところがあり、まったく面識のない方々と共同生活を送ることや、協力して課題に取り組むことに対し、不安を覚えることもありましたが、参加者の方々はやる気に満ちており、お互いを思いやることのできる心を持ったよい方々ばかりでした。この研修を無事に終了できたのはこのような人々との出会いがあったからだに心に残り、感謝したいと思います。

今回のライラ研修会で学ばせて頂いた経験や知識、心構えを忘れずに、より会社に貢献していける人材となれるよう、努力していきたいと思ひます。ありがとうございました。

クラブ俳句同好会

第二百九十三回句会

兼題 「夜寒」及び当季雑詠

鈍く光りて立冬の瓦屋根	山
霊峰の稜線真近か冬来る	あきら
鳥かごのインコの眠る夜寒かな	みかよ
夜寒さの酒酌み交し朝となる	ときよし
残業の帰路の立襟夜寒かな	久美子

【今後の予定と兼題】

第二百九十四回句会 平成23年12月5日

兼題 「枯蓮」「マフラー」当季雑詠 ※出句は5句